

市民講座オープン＝住まいづくりで悩める人々に、失敗しない住まいづくりの技術、失敗した住まいの回復の技術をお伝えします。

★ 市民講座(2007年度) - 受講の方法

住まいづくりに悩む市民の住まいづくりの共通課題について、住まいづくりの専門家が行う市民講座。講座のテーマは、住まいの契約、住まいの設計、住まいの性能、健康・生活・環境に配慮する住まいづくりの最新情報、構造の安全・安心など、約40テーマを提供する。

・講座プログラム

第一回 10月20日(土) 13:30～17:00

①「住宅の種類と注文住宅の建て方」(中城康彦、明海大学教授)

②「住宅購入の基礎知識-1 契約とは?」(斉藤広子、明海大学教授)

以降、各月5講座開講予定

・会場 建築会館(東京)会議室、2008年度以降各支部に展開予定。

・開設時期 10月より2007年度末まで。第一回は10月20日(土)13:30～、各月原則第3金曜日(2講座、18:00～21:00)、第3土曜日(3講座、13:30～18:00)

・参加資格 資格は問いません、定員(75名)まで先着順受付

・受付窓口 「住まいづくり支援建築会議」支援事業部会事務局にメール(下記)で申し込む(メールアドレス、氏名、会員・非会員の区別、電話、希望講座名)

・参加費 1講座 500円(資料代込み、ただし市販参考書を利用するテーマでは、参考書実費別途要)

・講師 住まいづくりの専門家+住まいづくり支援建築会議会員

以上詳細は、日本建築学会住まいづくり支援建築会議ホームページに掲載

問い合わせ 住まいづくり支援建築会議 支援事業部会 事務局/野口 E-mail
=noguchi@aij.or.jp

★ 市民講座のプログラム (2007年10月～2008年3月)

(講座の開講日時は、各月第3金曜日および土曜日ですが、11月以降は、確定次第、このホームページでお知らせします。まだ一部、内容・講師未定の講座がありますが、具体化し次第、詳細を描き込みます。)

(1) 住まいの契約・・・・・・・・・・ (2007年10月・12月+2008年2月)

1 (齊藤広子) * 住宅の種類と注文住宅の建て方

住まいの種類と不動産契約の手続きを、やさしく講義する。

2 (中城康彦) * 購入の基礎知識-1 契約とは

土地や建物の契約に関する重要な知識と注意を解説する。

3 (中城康彦) * 購入の基礎知識-2 重要事項説明と登記

契約前の重要事項を、易しく解説する。

4 (中城康彦) * 土地購入の基礎知識

売り建て住宅で起こる土地に関するトラブルを解説する。

5 (齊藤広子) * マンション購入の基礎知識

区分所有法を理解して、楽しくマンションライフを過ごす基礎知識を提供する。

6 (未定) * 住宅の種類と住宅価額

住まいの値段(注文住宅の場合は工事費)の要因を説明し、値段と各住宅の特徴を比較し、購入者の選択を助ける。

(2) 暮らしのための住まい-建築計画 (2007年11月・12月+2008年2月)

1 (齊藤卓三) * 優良な住宅と性能の基礎知識

住まいは、強さ・使いやすさ・美しさの共通の性能と、不動産および近隣環境を守る性能を説明し、現在制度として表示されている10の基本的な性能を解説する。

2 (河合敏男) * 消費者から見た住まいづくりの問題

消費者が陥りやすい欠陥住宅の実態とその原因を解説し、消費者が注意すべき住宅の契約・設計・工事などのポイントを解説する。

3 (直井英雄) * 事故のない住まいづくり-予防と改善

毎日の暮らしの場、また一生過ごす生活の場では、転倒や衝突などのいろいろな事故による日常災害が起こる。その現象と原因、および注意点を解説する。

4 (瀬戸章子) * マンションの共用部分(防犯とコミュニティー)

5 (石黒・天野) * 温暖化する地球に生きる住まい-省エネルギー・環境共生

地球環境を大切にす時代住まいの技術と生活の省エネルギーや環境共生に関する工夫を、最先端の建設技術を紹介し解説する。

6 (園田 真理子) * バリアフリーとユニバーサルな住まいづくり

バリアフリーから誰にでもやさしい住まいづくりの時代である。その考え方、最新の住まいの実例を紹介し、解説する。

7 (桧谷 美恵子) * 子育てと働く女性のための住まい

少子化の大きな要因に住まいの問題が指摘されている。特に働く女性の住まいで子育てに優しい住まいの考え方、実例を紹介し解説する。

(3) 住まいのハードウェア 1 (2007 年 12 月 + 2008 年 1 月・ 3 月)

1 (大野隆司) * 構法・構造の不具合

構法・構造の優劣、失敗が、住まいのゆがみ、床のでこぼこ、住まい全体の傾きなどの現象となる。その実態と原因、対処法を講義する。

2 (平井慎一) * マンションの設計

マンションの設計者がどのように購入者、消費者のために設計を工夫するか、その実例を紹介し、購入者のマンション評価のポイントを述べる。

3 (荻原幸雄) △戸建て住宅の設計

多数の一般的な注文住宅の専門家が、その経験から住まいづくりで失敗しない方法、住まいづくりで過度に期待してはいけないことを実例によって解説する。

4 (左奈田三郎) * 住まいの不都合とデザイン

高度な住まいづくりの技術が普及すると、自然のエネルギーや、伝統的な住まいの恩恵がうしなわれてしまうことがある。新しい技術で悩む居住者の実態と、住まいのあり方を述べる。

5 (吉兼健悟・橋口裕文) * 工業化住宅の設計—コンクリート系住宅の構造・構法

コンクリートの工業化住宅は当初の課題を技術開発によって乗り越え、優れた完成品になっている。開発者がその苦勞と今後の目標を解説する。

6 (松本俊哉) * 戸建てのリフォーム

多数のリフォーム被害が報告されているが、公共機関からリフォームの技術や被害に陥らないポイントを紹介する。

7 (上野 武) * 住まいのディテール—裏と表

住まいの構法でもっとも難しい技術であるディテール (複数の互いに境界を持つ材料のつなぎ方) のいろいろな事例と課題を紹介し、解説する。

(4) 住まいのハードウェア 2 (2008 年 1 月・ 2 月)

1 (秋本孝之) * 設備の不具合と原因

住まいの設備の種類、機能、耐久性、消費エネルギーなどの実態を明らかにし、各設備の問題となりやすい不具合現象とその原因を解説する。

2 (吉野博) * 温熱環境とエアコンの知識

夏の暑さ、冬の寒さなど温熱環境と居住者の健康の関係を解説し、健康に繋がるその制御の中心になるエアコンの使い方や注意点を述べる。

3 (渡邊博司) * マンション—漏水の現象と対処

住まいは雨や風を防ぎ、生活を守る基本的な役割があるが、漏水は上から来る雨、暴風時の横から来る雨、住宅内の配管や衛生設備からくる水など、住まいの基本的な機能を侵すものである。その現象と対処の方法を述べる。

4 (山田由紀子) * 騒音の現象と対処

上階の居住者の足音、周辺のトイレの排水音など、代表的な騒音はマンションのトラブルの原因である。どのような建築性能であれば、騒音を防止できるかなどの技術と生活の工夫を述べる。

5 (高井啓明) * アレルギーとシックハウス

人工的な材料に取り囲まれ、エアコンで空気や熱を制御されている現代の住まいは、非常に複雑な関係でシックハウスとなり、アレルギー反応が発生する。

6 (未定) * 結露—現象と対処

7 (澤地孝男) * 日照と日影—健康と生活

8 (須坂 清紀) △材料のよごれと耐久性—外装材

9 (未定) * 材料のよごれと耐久性—内装材

(5) 街・ 集団の暮らし—建築計画 (2008 年 1 月)

1 (高田光雄) * 生活から見たすまいと街の関係

近隣との生活の実態と、コミュニティについて、解説する。

2 (鈴木雅之) * 団地の建て替え

3 (高田光雄) * まちの更新

4 (梅干野晃) * まちの温熱環境と省エネルギー

(6) 建維持管理・修繕、リフォーム・・・・・・・・・・ (2007 年 12 月 + 2008 年 2 月)

1 (斉藤裕子) * マンション管理、定期修繕と大規模修繕

2 (柴原達明) * 小さいマンションの老朽化と対処

3 (藤木良介) * 大規模修繕の実態

(7) トラブルの実態・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (2008 年 3 月)

1 (工藤忠良) 住まい相談の実態、住宅性能保証、紛争処理

2 (小林文香) * 市民のクレーム・トラブルの実態

3 (畔上廣司) * 紛争の実態

(8) 地震と構造・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (2007 年 11 月・ 12 月 + 2008 年 3 月)

1 (杉山義孝) * 自宅の耐震診断

2 (杉山義孝) * マンションの耐震改修の方法

3 (中田捷夫) * 構造と住宅デザイン

4 (和田章) * 地震と構造技術-構造偽装マンション

(9) 補講編-特別講義・・・・・・・・・・・・・・・・ (2007 年 10 月 + 2008 年 3 月)

1 (服部岑生) * 構造偽装問題から住まいづくり支援学へ

2 (未定) △住宅行政 の課題と取り組み

(参考)

市民講座のコンセプト

講座は、市民を対象に、これからの住まいのあり方の条件を提示しつつ、住まいづくりの技術を市民がチェックできる体系を提供するものとし、平易だが市民が専門技術者や専門業者とともに住まいを共同して作る知識体系となるように構成する。当初の講義は、優れた専門家によって行われるように計画するが、その内容は必ずしも平易でチェックできる体系になっていないかもしれないので、講義の積み重ねと関係者の研究によって、完成を目指すものとする。また、本講座の内容は、非常に新しい住まいづくりの情報を提供するので、建築学会の会員の参加も、想定している。

1. 講座のテーマ

平成19(2007)年度では、40講義程度を開講する。講座の構成は、住まいづくりに関する課題が多岐にわたるとともに、住まいづくり支援建築会議の考える市民向けの住居学という視点でまとまった成果がないので、今後市民の要望、専門家の意見を吸収しながら完成した内容に近づくように考える。そのために2007年度の内容は、基本的な部分を集成する要に構成しているが、十分ではないと思われる。今後講座のテーマは、課題が出てくればそれに応じて増やしていく弾力的でオープンエンドの構成と考えていただきたい。現段階のテーマ群をいくつかのグループにまとめて、テーマ性をそろえて行う。グループは、主任講師となる責任者＝グループ主査を置き、運営を行う。主査は、グループごとにループ講義の検討を行い、全体の市民講座運営WGで、総合的な調整を行う。各グループは、内容となるテーマを適度にまとめて、1～2月程度で3～テーマの講義(各60分以内+質疑15分)で公開する。各月で1～2日程度、一日2～3講義程度で構成する。テーマ・リストは講師と会場の都合で、かならずしも公開順でない。実際の講義では、講師の都合で代理の講師となること、講師によってテーマ内容が微少に変更することがある。

2. 講座の開催時期と今後の計画

授業内容は、事前ヒヤリングを行って準備をし、調整と準備が終わってから開講する。ヒヤリングは、2007年6月以降で講師が決定次第行う。講座は10月以降、会告を行いほぼ1年間(第一期)で実施する。グループの講義は、主任講師+テーマごとに専門の講師で行う。将来の地域ごとの市民講座は、各グループの講義を記録したCDと講義の蓄積から作成した教科書等を利用し、公募された登録会員が担当する。将来の講義は、適宜企画計画し、時代の要望に対応して増やしていくこととする。最初のグループの内容も時期が来たら更新する。グループの新設、内容の更新(バージョンアップ、追加)は、受講者の要望を考慮して、適宜行う。市民講座の企画運営は、WGを設置して行う。

3. その他:放送大学の講義

市民講座の内容を精査し、まとめて放送大学の「市民のための住居学」(放映平成21年度～)

に縮約することを計画する。

内容は、市民講座の開講と放送大学の授業準備がほぼ同時期に行われるので、十分に調整がとれていない部分があることはやもえない。内容は、放送大学の条件に従い、市民講座の内容を概説する方向でまとめる。可能な限り市民講座を放送大学の15講義に集約して行う。

放送大学の担当講師は、大学教授であって講師5人以内が条件であるので、市民講座の講師は必ずしも放送講座の講師とはならない。放送大学の講座計画などの運営は、当面は放送大学の主任(服部岑生+上野武)と担当講師団(大野隆司、斉藤広子ほか)が行う。

★支援事業部会 (担当委員名簿順不同。 * 印 = 作業担当)

服部 岑生 千葉大学名誉教授 (部会長) *

齊藤 広子 明海大学 不動産学部不動産学科 (幹事)

橋本 洋一 東京電力 *

古賀繭子 日本女子大学 家政学部 住居学科

鈴木 雅之 千葉大学 工学部デザイン工学科 *

高田 光雄 京都大学大学院 工学研究所 都市環境工学専攻 居住空間学講座

檜谷 美恵子 大阪市立大学大学院 生活科学研究科

西戸 啓陽 明海大学 不動産学部不動産学科

荻原 幸雄 (有)翔建築設計 *

畔上 廣司 (有)畔上建築設計事務所 *

吉村 和美 吉村和美住環境デザイン研究所 *

小林文香 広島女学院大学 生活科学部 生活デザイン・情報学科 *

古賀 保彦 (株)ケイツーワークス一級建築士事務所

平井慎一 清水建設 (株)

山田 由紀子 明治大学理工学部建築学科

大野 隆司 東京工芸大学

上野 武 千葉大学 工学部デザイン工学科 *

園田 真理子 明治大学 理工学部建築学科

竹下 輝和 九州大学大学院 人間環境研究院都市・建築学部門 大学院人間環境研究院

本間 博文 放送大学